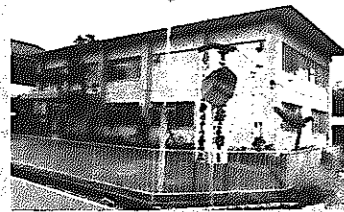
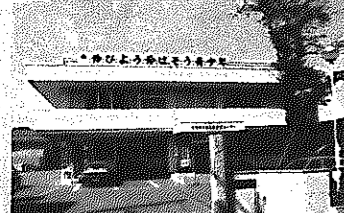


ご利用ください

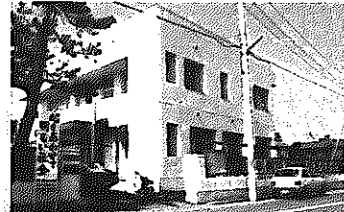
コミュニティづくりの
拠点・地域生活センター



茨曾根地域生活センター (53年完成)



庄瀬地域生活センター (54年完成)



小林地域生活センター (55年完成)



白井地域生活センター (56年完成)



根岸地域生活センター (57年完成)



新飯田地域生活センター (建設中)

大郷と鷲巻については、来年度以降建設を予定し、大通地区への建設も計画しています。白根地区は中央公民館に兼ねて設置されます。

おらが施設なんだと いう意識づけが必要



中村重孝さん
(能登)

優れた活動で知られる柏崎市のコミュニティづくりを手掛ける。県新生活運動協会県推進委員。現白根小教諭。

おおかたの地域は、多少なりとも住みにくさがかかえているはず。これらの課題の解決を行政まかせにすることなく、われわれの手で良くしていくと言う自覚が欲しいわけです。

市で用意してくれた施設は、大いに活用したいですね。市でも集まりやすい条件づくりが必要です。おらが施設という意識を植えつけるためにも、例えば、深夜を除いて鍵をかけない施設にするとか、地区民が考案したもう一つの施設名をつける、と言った方法

もあろうかと思えます。

青年たちの利用が多い施設は、活気づきます。その活動の中から、地域の課題を見出させるとともに、リーダーの発掘がなされるわけです。巻町の生活学校は婦人会の仲の良い仲間が始め、安塚町では三、四人の飲み仲間から組織化へ移行していきました。

柏崎市では、施設は市が用意し、管理はその地区民が行っています。こうした地区民の意識がなされるまでは、会議を何度も重ねました。管理費の一部は地区民から負担してもらっています。この受益者負担が、おらが施設という意識づけに大切なことなんです。

コミュニティづくりへのアドバイス

住民の要望にこたえた公民館経営を



猪股武雄さん
(五六の町)

社会教育の第一人者として著名。前市立図書館長を経て、現在市中央公民館長。市選挙管理委員長でもある。

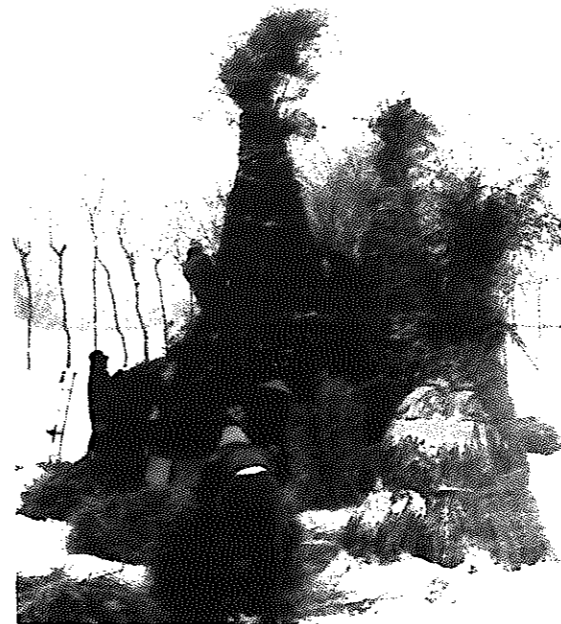
各地区単位に地域生活センターが整備され、地区公民館活動もそれに伴い充実されつつあります。コミュニティづくりは、このセンターを核とした領域が理想とされていることから、徐々にその体制は整えられているわけです。

しかし、年間住民一人当たり約三回という利用では少ないですね。恒眠館にならず、と言って貸し館のみに終わらせたくないものです。軌道に乗るまで、貸し館でもやむを得ませんが、集う、学ぶ、結ぶと言う終局的な目的に

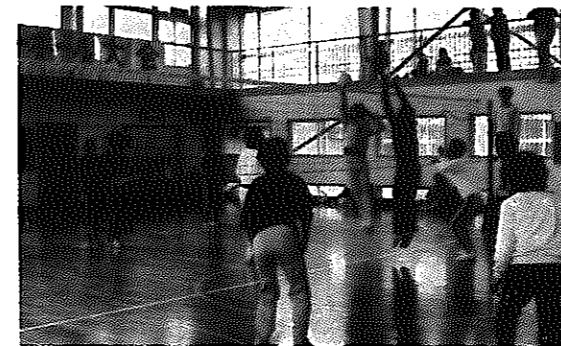
向かって努めて欲しいですね。

公民館では、施設を用意したのだから後は利用者待つのではなく、積極的に出掛け、地区民の要望をとらえることが大切です。公民館事業も一種の民間経営が必要なのです。

住民も問題解決を行政任せではなく、自分たちで考え、協力し合うことにより解決するという自治能力を、このセンターを足場にして発揮し、コミュニティづくりを進めていって欲しいものです。そのためには、地区公民館活動を活発にして、リーダーの発掘が急務だと考えます。



白井地区では伝統行事を現代っ子に継承したいと、久しく途絶えていた「さいの神」行事を復活。30人で継承グループを組織して、準備にあたっています



新飯田地区は体育スポーツ活動が盛んです。と、言うのもスポーツ振興推進委員の努力の賜物で、各部落から2人と公民館推薦の10人が、元旦マラソン、ふるさとキャンプ、各種大会の運営、指導にあたっています

三年前、バス停付近の汚れ方がひどいね...と言う茶飲み話が続いてきた。戸頭に住む交通安全母の会や保健会のメンバーが中心となって清掃奉仕活動。通勤学路の雑草刈りや空き缶拾い、バス停清掃などを定期的に行っています



少ない青年の利用

地域生活センターが整備された結果、年間利用者数は一万三百九十人と、住民一人当たり三・一回利用し、一日当たり二十九人が使っていることになりました。(庄瀬)

着物や俳句などの趣味クラブが九団体組織化されました。(茨曾根) 各部落単位では、活発に親睦活動や行事が行われていますが、地区全体の活動や行事には至っていません。(根岸) など。

そして、現状の課題として、青年層の利用の推進と、地域組織の活性化があげられます。

長い年月をかけて地道に

ユニティ施設を用意しても、活用できなければ宝の持ち腐れです。余暇時間の増大を考慮するとともに、地域社会で生活する時間の長い主婦、老人、子供などが利用しやすいように配慮も必要です。住民同士が互いに知恵を出し合い、活動し、場合によっては、市と力を合わせ、センターの効果的な活用を考えていきたいものです。どんなことでも気軽にセンターにご相談ください。親身になってアドバイスしてくれるはずですよ。

快適で安全な生活環境のもとで、健康で文化的な生活を営むことはみんなの願いです。このような望ましい生活は、私たちの日常生活の場である地域社会の生活環境の整備とあわせて、市民の地域的な連帯感に基づく近隣生活が営まれ、はじめて実現されるものでしょう。

ユニティは、地域の人々のためめ創意工夫により、長い年月をかけて熟成されるものです。その過程において住民の参加と活動の輪が広がり、市などの行政とのかかり合いも深まっています。

その地域に合った特色あるユニティづくりを進めていきたいと思います。